令和 4 年 10 月 30 日※1 (前回公表年月日:令和 3年 10 月 29 日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	日 校長名			所在地							
河原アイペット「		平成16年3月26		〒790−	790-0006 愛媛県松山市南堀端町6番地11 (電話) 089-935-8787 所在地								
専門学校 設置者名		設立認可年月日	日 代表者名										
学校法人河原		昭和60年10月21		〒790−		山市一番町一丁目1番地1	I						
分野	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	 		 学科名	(電話) 089-943	3-5333 ■ 専門士	Ī	高度専門士					
文化・教養		比·教養関係 専門課程	動物看護•第	 養管理学	<u></u> □科	平成 30 年 3 月		_					
学科の目的			い創造性に溢れ、動物管理 病院の業務全般にわたって					こ加え、受付業務、衛					
認定年月日 修業年限	平成 26	年 3 月 31 日 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位	講義		演習	実習	実験	実技					
	昼間	数 2280時間	1380時間		90時間	810時間	0時間	0時間					
2 生徒総定		生徒実員	留学生数(生徒実員の内	,	任教員数	兼任教員数		単位時間 総教員数					
<u>生徒総定</u> 61人	貝	<u> </u>	田子王致(生徒実員の内 0人	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>	末位教員数 10人		<u>総教員数</u> 12人					
学期制度		4月1日~9月30日 10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方法 定期試験、確認テスト、 率などに基づき総合的!	提出物、授業態 こ評価する	度、実習態度、出席					
長期休み	■夏 型 ■冬 型 ■学年記	台:4月1日~7月31 季:8月1日~8月31 季:12月20日~1月 末:3月1日~3月31	日 7日		卒業·進級 条件	・履修するすべての科目 得ること ・原則として出席率90%		こいずれかの評価を					
学修支援等	■個別相 本人、係	目談・指導等の対応	た及び自宅訪問を実施。遅	翼刻が目	課外活動	■課外活動の種類 WJVF学会への参加 ■サークル活動:	あり						
就職等の 状況※2	■ 就職法 1年しる。 ● 就就職職 ■ 就就職 ■ 配本 ● 大気の ● 大気の ● 大気の ● 大気の ・ 大気の も 大 り た 、 大 り も 大 り も 大 り も 大 り も と も 大 り も と も と も も も と も も と も と も も と も と も	指導内容 り、動物業界理解(手次は就職を意識) 替数 各望数 各望数 者数 者性 者数 者に占める就職者(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	95 1 1人 に陥るようになったため) 時点の情報)		主な学修成果 (資格·検定等) ※3	(令和3度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) <u>資格・検定名 種 受験者数 合格者数</u> 認定動物看護師 ③ 18人 18人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに診当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄							
中途退学 の現状	令和3年年 ● 神神 ・ 理題 ・ 問題 ・ 問題	4月1日時点におい 3月31日時点におい 8 学の主な理由 ま ま お止・中退者支援の まが続いた場合、早期に	て、在学者46名(令和2年4 て、在学者45名(令和3年 のための取組 に学園カウンセラーや保護者とには、保護者及び高校担任から	4月1日入学 =3月31日卒 の連携を強化	注者を含む) (本業者を含む) (本業者を含む) (本業者を含む) (まままま) (ままままままままままままままままままままままままままままま								
経済的支援 制度	※特待 事門 ※令和3		典、推薦特典、自己推薦 [*] : <u>給付</u> 対象・非給代 活数 3名	特典、大学 付対象	·短大·社会人特	典、家族制度、再入学制	度						
第三者による 学校評価	50 let	- AT IAI (A) (A)											
当該学科の ホームページ URL	URL:wv	ww.kawahara.ac.jp/	pet/										

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校職業実践専門課程においてより実践的かつ専門的な高度職業教育を行う観点から、企業・業界団体等より業界における人材の専門性に関する動向や求められる知識・技術等について意見を聴き、これを踏まえてカリキュラムや教育方法の改善・工夫に組織的、継続的に取り組むことを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
門田 尚之	愛媛銀行(人事教育部)	令和3年4月1日~令和4年3月31日	1
南 博文	愛媛県獣医師会(南動物病院)	令和3年4月1日~令和4年3月31日	2
浅井 由紀	有限会社 MHVC(松山ほうじょう動物クリニック)	令和3年4月1日~令和4年3月31日	3
石川 達也	河原アイペットワールド専門学校 校長		
松田 幸隆	河原アイペットワールド専門学校 教頭		
沓名 竜佑	河原アイペットワールド専門学校 学科長		
渡部 聡人	河原アイペットワールド専門学校		

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)
- 年2回 (前期後期終了後に各期総括として開催するため11月、3月)
- (開催日時(実績))
- 第1回 令和3年11月11日 17:00~18:30
- 第2回 令和 4 年 3 月 24 日 16:00~17:30
- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- 科目・シラバスなどについての意見を徴収した。
- ①公的資格化に向けた動きも加味しながら作成する必要があるが、公的資格についての確定情報はないため、現行の科目での検討を行う。②大学との単位認定を推進する。③産業動物については施設見学の案もあったが、試験対策程度にすることになった。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的で実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

動物外科看護学実習 I・II については、一定の評価基準を設定し企業によっての評価差が出ないよう実習評価表を整備し ている。また、現場でのニーズなどを具体的に講義するよう依頼している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

(= /) (1十日 妖に 20 では「我们ない」「日に 20 で記載。	
科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
動物看護総合実習(1年時)	企業理解のための指定動物病院へのインターンシップ実習(1年次)	松山ほうじょう動物クリニック
動物看護総合実習(1年時)	就職希望企業へのインターンシップ実習(2年次)	愛媛県内外の動物関連企業
動物外科看護学	周術管理とエマージェンシーを学ぶ	松山ほうじょう動物クリニック
野生動物学	野生動物の生態、人獣共通感染症(ズーノーシス)、野生動物に関する関連法規について学ぶ	移動動物園 ラブリー☆キングダム
動物臨床看護学各論	精密検査の実習・概論・応用(検査の工程から結果までを 鑑別・評価し、獣医師への的確な報告のあり方を学ぶ。	松山ほうじょう動物クリニック

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画(カリキュラム、シラバス、コマシラバス)に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「WJVF(動物臨床医学会)学会参加」(連携企業等:公益社団法人 日本動物病院協会)

期間:8月中旬 対象:動物看護・栄養管理学科教員、2年生

内容:日本の獣医療の最新知識を受講し質疑応答などに行い、有識者との意見交換を実施(新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの実施)

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「河原学園新人研修」

期間:令和3年4月~8月 対象:2021年度新入社員対象

内容: 専修学校制度、職業実践専門課程概要、第三者評価、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、専門学校における教育活動全般に関する研修を実施する。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「WJVF(動物臨床医学会)学会参加」(連携企業等:公益社団法人 日本動物病院協会)

期間:7月10日~8月15日 对象:動物看護·栄養管理学科教員、2年生

内容:日本の獣医療の最新知識を受講し質疑応答などに行い、有識者との意見交換を実施(新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの実施)

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「休退学防止支援研修会」〜今の時代に本気で休退学支援に取り組むために: 学生とつながるためのHow to〜期間: 令和4年8月23日 対象:河原学園職員対象

内容:休退学についての基本的な考え方について、中退すると不利になる理由(中退経験者によるアンケート結果など)を知る。不登校や引きこもり学生の気持ちと状況を知り、対象学生や保護者への対応方法について学ぶ。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本学全般の運営(経営、教育の現状、およびそれらの短・中・長期課題や方針、社会的責務など)について、学校関係者より意見を聴き、これを踏まえて学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライ	ン」の項目との対応
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的·育成人材像は明確 に定められているか
(2)学校運営	学校組織は明確に位置付けられ、各部署で役割分掌がなされている か
(3)教育活動	コマシラバスには、その授業のキーポイントや授業の流れ、予復習の ポイント、ポイントと関連する詳細な参照文献・資料などが具体的に記 入されているか
(4)学修成果	在籍率、休退学率、出席率、資格取得率について目標は明確に数値 化されているか
(5)学生支援	就職率実績の学内外の公開は、卒業年次5月1日在籍数を元に、休学 者数、進学者数、卒業不可者数、無業者数などの内訳と共に示されて いるか
(6)教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)など
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)は明示されており、公正かつ適切に学生募集及び入学者選考を行っているか
(8)財務	財務について会計監査が適正に行われているかなど
(9)法令等の遵守	学校教育法、私立学校法、専修学校設置基準などの重要な法律、省 令をはじめ、学則や就業規則、その他規則・規程に基づき業務が執行 されているか
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献·地域貢献を行っている か
(11)国際交流	

(3)学校関係者評価結果の活用状況

-般的な計算・漢字などの基礎学力の向上についての取り組み:補習が必要と学内教務会議で判断された学生への補習 体制の強化(専任教員が学科を横断し授業を担当することで担任へのサポートができる体制に改編した

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2021年4月1日

名 前	所 属	任期	種別
渡部 拓夢	いぬ暮らす	令和3年4月1日~令和4年3月31日	卒業生
染田 祥孝	松山東雲中学·高等学校 校長	令和3年4月1日~令和4年3月31日	高校教員
首藤 信樹	南堀端町内会 監事	令和3年4月1日~令和4年3月31日	地域の有識者
浅井 由紀	松山ほうじょう動物クリニック	令和3年4月1日~令和4年3月31日	教育課程編成委員会委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 ホームペーシ 広報誌等の刊行物・その他(

))

URL:www.kawahara.ac.jp/ipet/ 公表時期:2020年8月31日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

自己点検報告の評価を含めた外部評価委員の意見聴取に基づいて審議内容を整理し、学校運営に反映することに務め、 審議内容については、公表事項を整理しすみやかに公表しなければならない。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(2) 専門学校にありる情報提供等への取組に	対するハイトフィン」の項目との対応
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切 な運営がなされているかなど
(2)各学科等の教育	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているかなど
(3)教職員	人事、給与に関する制度は整備されているかなど
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校における職業教育の特色は明確になっているかなど
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)など
(6)学生の生活支援	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)など
(7)学生納付金·修学支援	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているかなど
(8)学校の財務	財務について会計監査が適正に行われているかなど
(9)学校評価	自己点検・評価結果を公開しているかなど
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物・その他(

))

URL: www.kawahara.ac.jp/ipet/

授業科目等の概要

				養関係専門課	程 動物看護・栄養管理学科)令和3年度											
	:	分類	Į			_			授	業フ		場所		教員		
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学	授業時	単位数	講	演習	実験・実習・		校外			企業等との連
	1.5	1.0	J/(期	数	~	7%	1	実 技	,	/1	14	<u>'</u>	携
1	0				概論、比較解剖学、血液学、免疫学、形態 機能学を通して体の仕組みと働きを学ぶ	通 年	60	4	0			0			0	
2	0			動物形態機 能学Ⅱ	病気の成り立ちと発症のメカニズムを学ぶ (形態機能・病理・免疫)	1年通年	60	4	0			0			0	
3	0			動物病理学	体の仕組みや各疾患の概要・機序・治療・ 看護についてを器官別に学ぶ	1年前期	30	2	0			0			0	
4	0			動物感染症学	看護業務にて深く関わる感染症とその法律 について理解する	1 2 年 通 年 期	90	6	0			0			0	
5	0			栄養学	消化器や消化吸収の仕組みと栄養素の基礎 を学ぶ	1年前期	30	2	0			0			0	
6	0			人 間 動 物 関 係学	人間と動物とのかかわりや歴史について学 ぶ	1 年 前 期	30	2	0			0			0	
7	0			動物福祉· 倫理	動物福祉の考え方について学ぶ	1 年 後 期	30	2	0			0			0	
8	0			動物繁殖学	繁殖の概論・ブリーディング・分娩新生児 管理を学ぶ	1 年 後 期	30	2	0			0			0	
9	0			動物医療関 連法規	愛玩動物飼養管理士2級合格を目指す。 狂犬病予防法・動愛法・鳥獣保護法・A AE・AAA・HAB・飼養管理・動物 愛護を学ぶ。	前期	30	2	0			0	0	0	0	
10	0			野生動物学	日本の野生動物の種類と保全、動物園等 の展示について学ぶ。	2年後期	30	2	0			0	0	0	0	
11	0			伴侶動物学	猫と小動物(ウサギ・ハムスター・フェレット・モルモット・小鳥・チンチラなど)の特徴や飼育管理方法を学ぶ。		60	4	0			0		0	0	
12	0			公衆衛生学	内部寄生虫、外部寄生虫及び各疾患の概要・機序・治療・看護について器官別に学 ぶ		60	4	0			0			0	

13	0	グルーミ グ実習 I	ン	被毛の手入れ、シャンプー、ブラッシング、コーミング、爪切り、耳掃除、肛門 嚢、クリッピング、ドライングなどについ	年後	90	3			0	0			0	
14	0	ト レ ー ニ グ演習	ン	て学ぶ 犬の基本的な訓練法を学ぶ	期 1 年通年	60	2		0		0			0	
15	0	動物内科科学実習	手護	看護業務に関わる基本的な看護技術を習得 し、各手順や要領を考慮し、正確かつス ムーズに手技ができる	1 年	90	2			0	0			0	
16	0	動物臨床 査学	検	各検査の概論を理解し、検査手技を習得す る。手順や要領を考慮し、正確かつスムー ズに手技ができる	1年通年	60	4			0	0			0	
17	0	動物看題 合実習	総	企業理解のための指定動物病院へのイン ターンシップ実習(1年時)、就職希望企業 へのインターンシップ(2年時)	2 1 年前 期期		6			0		0		0	0
18	0	グルーミ グ理論	ン	グルーミングに必要な知識を学ぶ	1年前期	30	2	0			0			0	
19	0	コンピュ タ実習 I	. —	ワードの基本技術を習得する	1 年 通 年	60	2			0	0			0	
20	0	就職実務	I	面接指導やナチュラルメイクやスーツの着 こなしなど就職活動に必要な準備を行う。	1年通年	60	4	0			0		0	0	
21	0	動物疾症護学	看	動物看護師資格対策集を行う	2年後期	120	6	0			0			0	
22	0	動物内科護学	· 看	各疾患の概要・機序・治療・看護について 更に深く学び、公衆衛生、ズーノーシス、 滅菌、消毒、動物防疫学、実験動物、産業 動物、野生動物について学ぶ	年	30	2	0			0		0	0	
23	0	動物臨床護学各論		体の仕組みや各疾患の概要・機序・治療・ 看護について更に深く学ぶ	2年通年	120	8	0			0			0	
24	0	動物看護論	各	疾病に関する動物看護師資格対策を行う	2年後期	30	4	0			0		0	0	
25	0	動物薬理学	学	薬剤の各特性について学ぶ	1 . 2 年後期	60	4	0			0			0	
26	0	動物臨床和学実習	 意護	看護業務に関わる基本的な看護技術を習得 し、各手順や要領を考慮し、正確かつス ムーズに手技ができる		45	2			0	0			0	
27	0	動物臨床養学	栄	栄養学の更に深い知識について学び、動物 臨床栄養管理士資格取得に関わる知識を習 得する		60	4	0			0			0	

28	0		動物行動学	犬猫の発生起源、犬種別特徴から行動の意 義と機序を学ぶ	2年前期	30	2	0			0			0	
29	0		実験動物学	猫と小動物について疾患管理を学ぶ	2年後期	15	1	0			0			0	
30	0			動物看護における看護方法を疾患別、管理 別に学ぶ	2 年 通 年	60	4	0			0			0	
31	0			入院看護・創傷管理・受付応対・問診・電 話応対・クライアント教育について学ぶ	2 年 前 期	30	2		0		0			0	0
32	0			緊急対応、リハビリテーション、小動物医療について学ぶ	2 年 後 期	30	1		0		0			0	0
33	0		動物外科看 護学	周術管理とエマージェンシーを学ぶ	2年通年	60	4		0		0			0	0
34	0		グルーミン	被毛の手入れ、シャンプー、ブラッシング、コーミング、爪切り、耳掃除、肛門嚢、クリッピング、ドライングなどについて学ぶ	年	90	3			0	0			0	
35	0		動物外科看護 学実習	看護業務に関わる応用・臨床的な看護技術 を習得し、チーム医療に結びつけるように する	2年通年	90	4			0	0		0	0	
36	0		動物形態機能 学実習	看護業務に関わる応用・臨床的な看護技術 を習得し、チーム医療に結びつけるように する	1 年 通 年	45	2			0	0		0	0	
37	0		産業動物学	産業動物の歴史や品種、飼養管理法、および畜産業など社会との関わりについて学ぶ。	2年後期	45	1			0	0		0	0	
38	0		動物臨床検 査学実習	精密検査の実習・概論・応用(健康チェック実習を行い、検査の工程から結果までを 鑑別・評価し、獣医師への的確な報告のあ り方を学ぶ。	年年	90	3			0	0			0	0
39	0		コンピュー タ実習Ⅱ	excelの基本操作を習得する	2年前期	30	1			0	0			0	
40	0		就職実務Ⅱ	面接指導など就職活動に必要な準備を行う	2年前期	30	2	0			0		0		
		合	計	40科目						22	280時	間	(12	1単(立)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
・履修するすべての科目において、S・A・B・Cいずれかの評価を得ること	1 学年の学期区分	前後期
・原則として出席率90%以上であること	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。